



目次

- 向島学会第4回(平成17年度)総会
改正された会則
- 平成16年度の活動報告
- 平成17年度の活動計画
- 平成17年度の活動計画
- 平成17年度の第1回交流のサロン



成立しました 向島学会 第4回 定期総会

5月14日(土)、向島学会の第4回定期総会が開かれました。昨年度は「向島Year 2004」などのイベント中心でしたが、今年度は、NPO法人化を視野に入れつつ会則の改正をおこなうとともに、「仮称」向島大学を目標として、活動拠点、人材、情報などの活動ベースづくりといった日常的な内容を充実させることに重点が置かれています。

なお、活動計画案・予算計画案は、総会での議論を受けて修正したものです。

向島学会 第4回定期総会議事録

- 0 会長あいさつ(要旨)
今年は1つの転換点であり、節目となる。新しい節目に向かって会を強化していきたい。一つはNPOを視野に入れていくこと、二つ目は自律的に運営できるような向島大学を考えていくこと、その2つを今年度の目標として活動する。
- 1 議長の選出と定足数の確認
総会の議長として阿部洋一理事を選出した。議決の承認に対する定足数は、2004年度会費納入者57名(一般46名、学生11名)の過半数29名であることを確認した。また、議決権を委任する会員が17名であることを確認した。
- 2 議事
(1)平成16年度活動報告
事務局より、活動報告があり、承認された。

今年度から活動実施状況に対する、事務局による自己評価が加えられたこと、運営体制の強化が課題であることなどが説明された。

- (2)平成16年度決算報告
会計担当理事より、決算報告があり、承認された。2つの受託業務(まちづくり会所調査、向島キャラバン)に関する会計の説明が不十分という意見が会員から出たため、事務局より詳細な会計報告を追加し、了承を得た。

- (3)平成16年度監査報告
監査が都合により出席できないとの報告を受け、議長が監査2名による適切な監査が行われたことを確認した上で監査報告を代行し、承認された。

- (4)平成17年度活動計画(案)、予算計画(案)
総務担当理事より、上記計画案についての説明があり、承認された。
会員からは、路地園芸プロジェクトに関して、都市再生モデル調査の対象として選定された場合とされない場合の実施・会計体制についての質問と、自主的活動支援の方法について公募やオープンな形での申請形態の提案があり、今後検討していくこととなった。

- (5)会則の改正(案)
会長より、会則の改正の提案があり、承認された。改正点は活動内容に、向島地域に資する学術・芸術等に関する活動支援と、活動拠点施設の活用企画検討及び管理運営の2つを加えることと、年会費を月5000円(年60000円)に改めることの2点である。
会費の値上げに伴う増収に関して会員から提案があり、会費増収分は予算案に反映し、予備費とすることとなった。

- (6)役員への補充
会長より、役員2名の退任にあたり同数の役員補充の提案があり、承認された。新役員は遠藤裕子、友野健一の2名であり、紹介が行われた。



<http://www.mukojima.org/>

発行 向島学会
代表 高木新太郎

郵便振り込み
00130-7-723191 向島学会

PS.04年末に振込先が上記に変わりました。ご注意ください。

入会金 3,000円
(学生会員 1,000円)
月会費 500円
(学生会員 100円)

PS.会費は平成17年度総会で上記に改正されました。

申し込みば「交流サロン」やHP等でも受け付けます。

仲間になりませんか!

向島学会では、会の目的に賛同し、活動に主体的に参加するとともに、活動の成果を会に提供する個人を対象に会員を募っています。会員2名の推薦が必要ですが、交流サロンなどに参加していただき、その後、会員に申し込まれることをお勧めします。

平成17年5月14日(土)午後2時から4時半
ユートリア(すみだ生涯学習センター)視聴覚室

向島学会 第4回定期総会

第1部 向島学会平成17年度総会 (14:15~15:15) 司会: 曾我高明

- | | |
|--------------------------|----------|
| 1 会長あいさつ | 高木新太郎 |
| 2 議事 | 議長: 阿部洋一 |
| 1) 平成16年度活動報告 | 真野洋介 |
| 2) 平成16年度決算報告 | 高原純子 |
| 3) 平成16年度監査報告 | 渡辺直 |
| 4) 平成17年度活動計画(案)・予算計画(案) | 山本俊哉 |
| 5) 会則の改正(案) | 高木新太郎 |
| 6) 役員の補充 | 高木新太郎 |

第2部 平成17年度第1回交流のサロン(15:15~16:30) 司会: 大崎元

「(仮称)向島大学の講座案について」

- | | |
|--------------|-----------|
| ・アートとまちづくり講座 | 曾我高明・真野洋介 |
| ・住まいの防災・防火対策 | 藤野雅統 |
| ・路地園芸 | 佐原滋元・亀山恒夫 |
| ・その他 | |

第1部 向島学会平成17年度総会

開催

向島学会
第4回定期総会

改正
会則

向島学会 会則(改正)

- (名称)
本会は、向島学会(Association of Mukojima Studies)と称する。
- (事務所)
本会は、主たる事務所を、東京都墨田区に置く。
- (目的)
本会は、墨田区向島地域に関する学術・芸術等の成果を集約し、それらを地域に還元するとともに、今後の向島地域のあり方を検討し、広く情報発信・行動提案していくことを目的とする。
- (活動)
本会は、前項の目的を達成するために、次の活動を行う。
向島地域に関する資料の収集・整理
向島地域に関する情報の交換・提供
向島地域の課題に関する調査研究・提言
会員の資質向上及び向島地域の人材育成
向島地域に資する学術・芸術等に対する活動支援
活動拠点施設の活用企画検討及び管理運営
その他、本会の目的を達成するために必要な活動
- (会員)
会員は、本会の目的に賛同し、活動に主体的に参加するとともに、活動の成果を会に提供する個人を対象とする。
- (入会)
会員になろうとするものは、会員2名の推薦及び会費の納入を必要とする。
- (賛助会員)
本会の目的に賛同し、活動に協力する個人、各種法人、団体を本会の賛助会員とする。
- (会費)
会員は、付則において定める金額の会費を納入しなければならない。
- (退会・除名)
会員は、退会したとき又は除名されたときに資格を喪失する。なお、会員が本会の名譽を傷つけ、又は本会の目的に違反する行為があったとき、年会費を1年以上滞納したときは、総会の議決を経て、会長が除名することができる。ただし、その会員に弁明する機会を与えなければならない。
- (役員)
本会は、次の役員を置く。
会長 (本会を代表する: 1名)
副会長 (会長を補佐する: 2名)
理事 (会務を統括・執行する: 若干名)
幹事 (会務に関し助言する: 若干名)
監査 (会計及び会務執行を監査する: 2名)
役員は、会員のうちから総会において選任し、任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
- (会議)
年一回、全会員によって総会を開催する。
本会は、分野別に部会を設ける。また、二ヶ月に一回程度の割合で「交流のサロン」を開き、意見交換を行う。

12. (活動経費) 本会の活動経費は、会費、協賛金、助成金などによって賄う。

13. (会計年度) 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

14. (事務局)
会の事務を処理するために事務局をおく。事務局には、事務局長及び事務局員を若干名置く。事務局員の任免は、理事会の同意を得て会長が行う。

15. (会則の改正) 本会則は、会員の過半数の同意がなければ改正することができない。

16. (補則) 本会則の施行に必要な規則は、別に定める。
<付則>

(1) この会則は、2002年4月20日から施行する。

2003年5月31日一部改正

2004年4月24日一部改正

2005年5月14日一部改正

(2) 会費は、以下の通りとする。

入会金: 3,000円 (ただし、学生会員は1,000円)

会費: 月500円 (ただし、学生会員は月100円)

賛助会員は、個人: 1口3,000円 1口以上

法人: 1口10,000円 1口以上

なお、団体の賛助会員は、適宜情報を提供することにより本会の活動に協力を得るものとする。

年会費の納入は年1回とし、毎年度の5月末日までに前納しなければならない。ただし、新規会員は、入会時に入会金とその年度の年会費を納入するものとする。

平成17年度の役員体制

会長: 高木新太郎

副会長: 佐原滋元

渡辺慎二

理事: 高原純子

阿部洋一

藤井正昭

北條元康

古橋良文

遠藤裕子(新任)

友野健一(新任)

嘉藤笑子

曾我高明

山本俊哉

真野洋介

長谷川栄子

大崎元

幹事: 小川幸男

森栗茂一

藤野雅統

監査: 大場森夫

渡辺直

向島在住者

向島在勤者

地区外在住勤者

平成16年度向島学会活動報告

(概要)

昨年は、向島百花園開園200周年にあたることから「向島YEAR2004」と銘打ったアート・まちづくりに関する連続イベントの開催を軸に、NPO日本都市計画家協会との連携による「都市計画キャラバン2004」の開催、ハウジングアンドコミュニ

ティ財団による「まちづくり会所の運営に関わる調査」委託事業、定例の交流サロン(7回)、ニュースレターの発行(4号)等を行いました。また「向島YEAR2004」に関連する企画への支援を行いました。



会長あいさつ:高木氏



議長:阿部氏



平成16年度活動報告:真野氏

(交流のサロン)

- 第1回(平成16年4月24日) 会場:すみだ生涯学習センター
「向島グリーンマップの取り組み」:土谷亨 / 「向島YEAR2004の企画主旨」:曾我高明
- 第2回(平成16年5月15日) 会場:現代美術製作所
「向島の自然」:橋内智也 / 「初等教育から見た向島」:高木新太郎
- 第3回(平成16年7月24日) 会場:東武博物館ホール
「まちづくりにおけるアートイベント」:山本俊哉、曾我高明、菅野幸子 ほか
- 第4回(平成16年9月26日) 会場:一寺言問集会所
「グリーンと暮らしとまちづくり」:長谷川栄子、真野洋介、土谷亨 ほか
- 第5回(平成16年11月26日) 会場:中小企業センター
「アートと暮らしとまちづくり」:伊藤滋、加藤種男、飯田利一、山崎昇 ほか
- 第6回(平成17年1月23日) 会場:一寺言問集会所
「まちづくり会所のあり方」:真野洋介、小林愛佳、大崎元、嘉藤笑子、古橋良文ほか
- 第7回(平成17年4月2日) 京島キラキラ会館
「向島大学の構想案」 高木新太郎、山本俊哉、長谷川栄子、藤野雅統ほか

(ニュースレター)

- 第1号(平成16年6月17日)「第3回定期総会/向島YEAR2004 始まりました!」
- 第2号(平成16年8月31日)「都市計画キャラバン2004 スタートアップ」ほか
- 第2号別稿 議事録「第3回交流サロン まちづくりとアートイベントの連携」
- 第3号(平成17年2月11日)「動きだしたまちづくり会所」ほか
- 第4号(平成17年4月27日)「(仮)向島大学構想」ほか

(役員会)

- | | | | |
|-------------|---------|-------------|---------|
| 第1回(6月2日) | 一寺言問集会所 | 第2回(7月15日) | 現代美術製作所 |
| 第3回(9月14日) | 寺島集会所 | 第4回(10月16日) | 寺島集会所 |
| 第5回(11月5日) | 寺島集会所 | 第6回(11月19日) | ライスプラス |
| 第7回(12月16日) | ライスプラス | 第8回(2月24日) | ライスプラス |
| 第9回(3月24日) | ライスプラス | 第10回(4月21日) | ライスプラス |

(会員数)

正会員:62名(うち本年度会費納入49名) 学生会員:21名(同11名)

平成16年度の活動計画の実施状況(事務局による自己評価)

活動項目	当初の目標・ねらい	評価
「向島イヤー」関連企画の実施・協力	「向島イヤー」(平成16年5~11月)実施の中核となり、「歴史と文化の再発見」、「新たな地域文化の創造」、「新規産業の誘発」に係る企画について、関連団体と連携して実施・協力する。 具体的には、「向島イヤー」全体及びその中心企画の「向島百花園開園200周年イベント」の事務局業務を担い、企画・広報・記録等を行う。開催に当たっては、日本都市計画家協会の「都市計画キャラバン」などとの連携を図る。また、その成果を踏まえ、平成17年度「アートNPOフォーラム」の向島開催などについて検討する。	アートNPOフォーラムは
「交流のサロン」の開催	会員の研究発表、活動報告、研鑽及び交流の場として「交流のサロン」を6回程度開催する。開催に当たっては、「向島イヤー」のプログラムとの連携を図る。	
「向島大学(仮称)」及びガイドツアーの開催	向島学会の会員などを講師とする講座(有料)と向島のガイドツアー(有料)を開催する。開催に当たっては、「向島イヤー」のプログラムとして実施する。	ブログ講座、構想案、台湾視察対応は
商店街等における「まちづくりの活動拠点」の創出	商店街の空き店舗調査の成果を活かし、商店街の空き店舗等を活用した「まちづくりの活動拠点」の確保とその管理運営について検討し、拠点創出をめざす。	
	検討に当たっては、その活動を「向島イヤー」のプログラムとして位置づけ、墨田区や商店街等の関係団体との連携を図りながら進める。	鳩の街会所(いどばた)京島会所(RICE+)、まちづくり会所調査
事務体制の強化 NPO法人格の取得	事務局機能を強化し、会計や記録等の管理業務体制を整えとともに、助成財団等からの資金調達を計画的に実施する体制を整え設立当初より懸案となっているNPO法人格の取得について検討を進める。	資金調達は 体制は 法人格は(検討のみ)
ホームページの充実	向島学会のホームページの「資料室」や「活動報告」等を充実させる。	向島イヤーの方は充実

凡例: (目標を十分達成) (目標をほぼ達成) (目標を未達成)



平成17年度活動計画

平成17年度活動計画・予算：山本氏

1) 「(仮称)向島大学」の実験開講

向島地域の歴史と文化を深く理解することにより創造力を培い、広くまちづくりの人材を育成するため、「(仮称)向島大学」を実験的に開講する。今年度は、3コース程度を開講するとともに、組織体制、運営方法及び次年度の本格開校を検討する。

(2) 向島学会のNPO法人化

向島学会の活動を広げるとともに、組織体制を強化するため、専門部会を設立して、NPO法人(民間非営利法人)への改組に向けて、「交流のサロン」等で検討を行う。

(3) 向島学会の事務所の確保

向島学会の活動を広げるとともに、事務局体制を強化するため、事務作業が可能で、会員等が日常的に集うこともできる事務所を確保する。

(4) ホームページの充実と向島に関する映像資料の収集・整理
向島学会の活動を対外的に広報するため、部会活動を強化してホームページの充実を図る。今年度は、特に映像に関する資料の収集・整理、英語による活動紹介に重点を置く。

(5) 向島路地園芸調査の実施

向島地域の路地空間の魅力を増進するため、地域の関係団体並びに全国路地のまち連絡協議会等と連携して路地園芸の実態及び環境影響等を調査し、その成果を対外的に発表する。

(6) 会員等の自主的まちづくり活動の支援

向島地域の歴史と文化の掘り起こしや商店街の活性化等を図るため、会員等が自主的に行うまちづくり活動を積極的に支援する。なお、支援の対象選定については、規定を設ける。

(7) まちづくり人材データベースの作成

向島地域の住民によるまちづくりを支援するため、コンサルティングが可能な会員の「まちづくり人材データベース」を作成する。ただし、個人情報の保護に留意する。

8) 「交流のサロン」の開催とニュースレターの発行

向島地域の課題に関する提言検討、会員(特に学生会員)の研究発表・活動報告・研鑽及び交流の場として、「交流のサロン」(6回開催予定)の充実を図るとともに、サロンの成果等をまとめたニュースレターを継続的に発行する。

(9) 他地域のNPO等との交流活動の推進

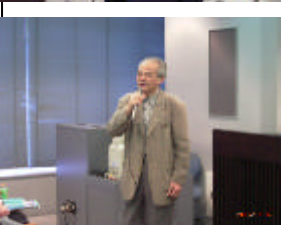
向島地域の課題に関する調査研究、向島地域に関する情報交流等をすすめるため、向島地域と関係のある他地域のNPO等との交流活動を推進する。



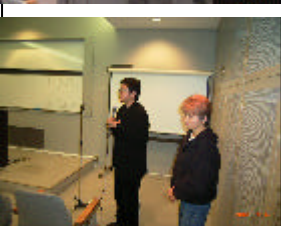
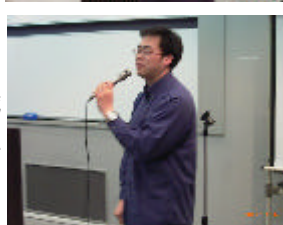
「新東京タワー」の可能性も取り込みつつ、地域の活性化を探る藤井正昭氏。



8月墨田開催「雨水東京国際会議」の意義を熟く語る、墨田区の小川幸男氏。



横浜ランドマークタワーの例を引いて、地域自力の大切さを強調する伊藤洋氏。



ドイツ・ハンブルグでのアルトナーレ国際シンポジウムに参加します。



墨田区環境保全課からは、6月の「考えよう、明日の地球展」を紹介。



本日学会会員になりました。両国でもまちづくりに取り組んでいる、福山氏。



「RICE+」後の活動を見据えつつ、今後のアートを紹介する、嘉藤笑子氏。



明治大学山本氏初の生徒。インテリアからまちづくりを考える山口かなさん。



時間延長しながら活発な発言が続いた会場。でも、着席は両端に陣取って中央に空き席が目立つのは、なぜ？

向島学会

開催

第2部 平成17年度

第1回交流のサロン

ここでは、「(仮称)向島大学の講座案について」いつかの提案が成された後、自由に意見交換がなされました。会場からもたくさんの方が、新たな講座案、地域に密接する新たな課題に関する事業、連携するイベント、国内でのさまざまな活動とのコラボレーションや海外との交流案等々について、壇上からこうした自由な意見や提案が飛び出しました。こうして自由な意見を構想していきます。

「アートとまちづくり」講座の提案が、曾我高明・真野洋介氏から。

「住まいの防災・防火対策について」の講座イメージを提案する、藤野雅統氏。

「路地園芸」で提出した助成事業とその内容を、佐原滋元・亀山恒夫氏から。